

事後評価シート

調査研究課題名	住宅リフォーム市場の実態把握と市場活性化に関する研究
担当者	主任研究官 長野幸司、主任研究官 奥原崇 研究官 池田清忠
当初目標と目標達成度	当初は住宅リフォーム市場の発展施策の提案までを企図していた。結果的に住宅リフォームの課題整理と現況のニーズ把握となったが、相応の成果は得られたと考えている。
調査研究内容の妥当性	住宅リフォームの特性や市場構造等住宅リフォーム市場の実態を整理がなされ、今後のストック重視の住宅政策に関して有意義な情報提供がなされていると考える。
調査研究の仕組みの妥当性	本調査研究では、文献調査を踏まえ、各世代の住宅リフォームニーズについてネットアンケートを行った。多くのサンプルを対象にしたアンケートができ、一定の傾向をつかむことができたと考える。
成果と活用	住宅リフォームに関する意識調査から、住宅リフォーム市場活性化のための課題が確認された。ストックを重視する住宅政策展開のための基礎資料として活用が期待される。
その他	
意見	成果と活用を詳述すること 書き直した。 図表 30 の解釈がおかしいのではないかと 論旨に合わせて図表と本文を改めた。 国交省の政策の中での位置づけが判然としない 6P の記述に追加した。 大規模マンションの大規模修繕について、その円滑な実施のための条件整備が必要ではないか。 まとめに加える。